

## スピタク市における東日本大震災9周年追悼式

3月11日、山田大使はスピタク市(1988年アルメニア大地震の震源地)で毎年開催される東日本大震災の追悼式に招かれ、地元の有志により建立されたハチュカル(石の十字架)に献花を行いました。この日はアルメニア側からツォラキヤン非常事態大臣、ペトロシヤン国民議会議員(地元選出)、グカシヤン・ロリ州知事、サハキヤン・スピタク市長らの要人に加え、非常事態省救急隊のガブリエリヤン大佐(慰霊碑建立の発起人)他隊員多数、アルメニア使徒教会のオヴセ司教やスピタクの一般市民も参列し、遠く離れた日本の震災犠牲者の冥福と被災地の復興に祈りを捧げました。



スピタク市民が建立した東日本大震災慰霊碑



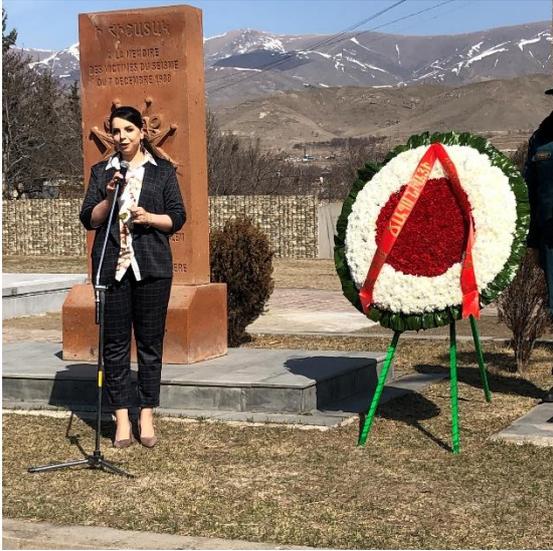
オヴセ司教による追悼の祈り



ツォラキヤン非常事態大臣



山田大使の挨拶



スピタク第8学校代表(草の根無償で暖房設置)



慰霊碑の並ぶ広場



ガブリエリャン大佐(慰霊碑建立の発起人),  
グカシヤン・ロリ州知事, 山田大使,  
ツォラキヤン非常事態大臣, ペトロシヤン議員,  
サハキヤン・スピタク市長



非常事態省救急隊員による敬礼



1988年アルメニア大地震慰霊碑